

本レポートは、信金中金の海外駐在員等が最新のトピックスについて報告します。本稿では、日系企業の東南アジア進出数 1、2 位を誇るタイ、ベトナムにおける「**2021年の最新経済見通し**」をテーマに作成しました。

当該国へ進出されているお取引先様と海外子会社運営方針等の意見交換をするうえでのツールとして、例えば「タイ・ベトナム経済動向について、海外現地の報告によると・・・となっておりますが、御社におかれてはどのような影響があるのでしょうか?」といった切り口などで、ご活用いただけたら幸いです。

今月のトピックス：

1. タイ経済の最新見通し～観光と自動車、2大産業の動向に注目（タイ駐在職員）
2. コロナ禍でもプラス成長を維持、懸念事項を抱えながらも更なる成長に期待（ベトナム駐在職員）

## 1. タイ経済の最新見通し～観光と自動車、2大産業の動向に注目

### ■ 2020年のタイ経済動向振り返り～マイナス成長ながら金融緩和もあり回復基調へ転じる～

タイ中央銀行は、12月に2020年の国内総生産（GDP）成長率予測を、9月に示した▲7.8%から▲6.6%に上方修正しました（図表1-1参照）。理由としては、貿易相手国の回復に伴い輸出が相定以上に持ち直していることや、国内の行動制限の緩和や政府による家計支援策などにより

こちらは信用金庫とそのお取引先向けとさせて頂いております。

ご覧になりたい場合は、お近くの信用金庫（検索は[こちら](#)）までご相談ください。

[続きを読む](#)